

学校運営協議会に参加して



CS通信24号



＜萩間小学校＞第3回 学校運営協議会
11月11日（木）13：30～16：30

内容 (1)会長あいさつ

(2)校長挨拶

(3)協議事項

- ・全国CS研究大会（三鷹）報告＜校長＞
- ・7月以降の学校運営の振り返りと後期の学校運営計画＜校長＞
- ・体験活動の見直し＜校長＞
- （質疑・応答）クロームブック活用状況、起郷家教育
- ・教職員の任用に関する意見＜CSD＞
- ・学校評価、CS評価について＜坪池委員＞
- ・8月以降の地域学校協働活動実績と今後の活動＜中田委員＞
- ・学校運営協議会の活動報告と今後の活動＜CSD＞
- ・通学合宿の今後について＜CSD＞

(4)報告・連絡事項

- ・相良中学校運営協議会参観報告＜柴田委員＞
- ・通学路の合同点検＜永田委員＞
- ・大人の学び「ペンキ塗り方講習」＜永田委員＞
- ・交通安全＜此常委員＞
- ・正門付近耕作放棄茶畑利用進捗状況＜森田会長＞
- ・小鳥小屋の活用等＜CSD＞

(5)今後の学校運営協議会活動＜CSD＞

- ・新企画（提案済み）お下がり市 3月
- ・開校150年祭実行委員会
- ・新企画提案 祖父母の草取り活動＋授業参観
- ・新企画提案 萩小お助けレンジャー（仮称）等



＜傍聴＞杉本市長、教育長、教育文化部長、教育総務課長、
学校教育課長、主席指導主事、教育C、県教委社会教育課主査2名

左記のとおり、協議内容が豊富でびっくりです。特に、印象に残ったのは、「通学合宿」の今後についての協議でした。他の学校でも通学合宿はいい事業だとはわかっていても、教職員に、PTA役員に、協力する地域の方に負担がかかっている場合があるのではないのでしょうか。その課題に関して、学校運営協議会としてどうして行ったらいいのかをみんなで考えてくれました。地域が好きな子どもたちの育成という願いを持っての協議は聴きごたえがあるものでした。今回協議した方法で新たな出発になりました。

杉本市長 学校運営協議会を参観

市長から「牧之原市のCSの様子を知りたい」という言葉をいただき、学校運営協議会の参観を設定しました。「学校が好き、地域が好き」という子どもたちを、地域が学校と一緒に育もうと、本気で協議する学校運営協議会の様子を参観してくれました。

この参観で、CSを通して地域を担う子どもたちが、地域を知り、地域の方々とかかわりながら学びを深めていくことが伝わり、**地域愛を育む 牧之原市のCSに大きな期待を持ってくれました。**



川崎小 第3回 学校運営協議会

11月16日（木）15：30～17：00 場所；応接室

内容 (1)校長あいさつ

(2)学校からの報告（最近の学校の様子）

(3)CS活動報告（7～11月 南風通信10～12）

(4)協議

- ①今後のコミュニティ・スクールの活動について
 - ・挨拶の意識づけについて
 - ・茶の実の収集について
- ②川小応援隊の集いについて

(5)その他



挨拶おみくじ



南風通信をもとに7月から11月までの活動報告がありました。そして、協議は、生徒指導の先生から、「子どもたちの挨拶を活発にしたい」という相談があり、挨拶おみくじというアイデアが承認されました。川崎小の子どもたちの挨拶運動が、地域の活動に広がったら、地域の自慢に、地域の活性化につながるんじゃないか。地域みんなで子どもたちを見守り、育てているという実感が持てる活動になるんじゃないかあ、そんな思いを持ちました。特色ある活動になるまでには、山あり谷ありだと思っけれど、この学校運営協議会のメンバーでアイデアを出し合い、やり続けてほしいなあ。そして最も盛り上がったのは、協議の終盤になって、委員さんから「6年生が卒業前に、まだ使える体操着などを集める『ギフトボックス』を設置して期間を決めて展示し、在校生保護者・子どもたちに使ってもらおう」という提案があり、展示場所やPTA役員さんへの相談等々、意見がいっぱい出され盛り上がりました。楽しい活動になりそうです。

今回、初めて川崎小学校の学校運営協議会に参加させていただきましたが、川崎小学校の委員の皆さんは、村上CSディレクター同様、どの方も行動力があり、地域の中で色々な活動を行っている方々でした。今後、この場で話されたことが形となって行くと思うと、子どもたちだけでなく私も楽しみにになりました。